

自己評価・外部評価 2023

グループホームひまわり

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者は住み慣れた地域でこれまでの生活の延長線にある生活が送られ、楽しみや本人の経験を活かした役割を持ち、意義ある生活を送れるように支援します。			職員の名札の裏に理念を記載している法人があります。ひまわりでは名札自体を使用しておりません。朝礼はありますが、理念の復唱はおこなっておりません。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の認知症介護拠点として、認知症介護について地域講座や学校の授業で講師として立ち発信し理解普及に努めています。	地域のお寺とお付き合いはありません。大野町のお寺の住職が毎月、法話に来ています。近隣のお店や喫茶店に出かけています。		認知症基本法が成立。行政としてどのような施策をおこなっていくか認知症の人がどのようにして地域で暮らしていくか。どのようにして発信していくか。「劇団 笑顔の天使」の活動 福祉フェアで公演はどうかはなも(地域交流センター)の活用
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない E. ほとんどできていない	地域の実状に合わせた話し合いが出来ており、有意義なものとなっています。また、評価を運営推進会議でおこなうことでより深い理解を得られていると感じています	利用者と家族は会議に参加していませんが、広報は出来ているか。→この会議の議事録を家族に発送しています		
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議、地域ケア会議での関わりをはじめ、町の機関とは顔の見える繋がりが出来ており、情報や意見交換をおこない協力関係が築けていると思っています。	「劇団 笑顔の天使」の活動などを通して連携出来ている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の研修を実施し具体的な行為について全職員が理解をしています。やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、手順を踏み、定期的に検証をおこない廃止に向けて取り組んでいます。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関と共有は出来ているか→医師等と相談などをおこなっています。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と併せて虐待についての研修を定期的におこなっています。しかし、頭で理解していても言葉で抑制するケアがみられることがあります。威圧的、高圧的な態度とならないように常日頃、注意を払い、虐待に発展しないように指導することがあります。	/	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束とは別に言葉での拘束や薬の過剰投与による拘束があります。言葉による拘束(スピーチロック)は特に注意が必要です。職員のメンタルケアやカウンセリングはしているのか一年2回の職員面談はあります。最近、ニュースになった経済的虐待(食事の提供量を減らしていた問題)で気を付けていることはあるか→食事提供はグループホームとして自施設で作り、こだわっている部分です。ぬくもり相談員による外部の人の目はあった方が良くと思っています。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用しているご利用者様があり、制度について職員は概ね理解をしています。必要となるケースがあれば制度活用に向けて関係者と協力しています	/	/	
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分な説明をおこない、理解・納得を図っています。疑問等には随時お答えしています。	/	/	
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者さまの訴えに耳を傾けるように努めています。ケアプラン作成ではご利用者さまの意見・要望を反映したプラン作成に努め、ケアに繋げています。ご家族様には面会時に要望等をお聞きする機会が多いです。手紙、電話、SNSも活用しています。話が出来る関係づくりが重要と認識しています。	/	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族アンケートでケアプラン作成の話し合いが出来ていないという意見がありました。文書を送付していますが、不十分な面はあります。ご面会に来られた際に話せば良いのですが、タイミングが合わない時があります。ご利用者ごとの担当者はいらぬのか→担当者はいません。職員が全員のことを把握するように努めています。関係づくりが不十分なご家族様に対する対応は対策が必要

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	日常的に職員は意見・提案をおこ なっており、実行が必要と思われる 提案については検討し反映させて います。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	個々の働き方に合わせた柔軟なシ フト作成をおこない休日希望には ほぼ100%応えています。職員 の配置に余裕を持たせ、急な休み にも対応しています。 年2回の人事評価をおこない本人 の取り組み、成果を確認していま す。但し、給与については不満の 声もあり、企業努力だけでは解決 が難しいと感じています。	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	急遽、当日に職員が欠勤となっても人 員が回るようにシフト作成をおこなっ ています。 今後、外国人雇用をするにあたっても 同じように働きやすい環境づくりを続 けてください。 職員から働きやすいという声は聞かれ ますか？ →はい、シフトの融通がきく こと、少人数ケアなので肉体的負担が 少ないことなどがあげられます。 職員の高齢化は課題です。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	年計画の法人内研修を実施。ま た、本人の学びに合わせた研修参 加の機会を提供しています。 現場の中で一緒に学びつつ知識・ 技能アップを図っています。	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	外部講師による研修があります。 全員参加か？ →シフトによるので、 参加が出来ない人は後日、伝達しま す(研修動画があります) 職員の高齢化により研修に臨めない 人(意欲低下の人)はいるか？ →その ような人はいません。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みを している	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	同業者の職員同士の交流はおこな われていませんが、管理者は地域 でこれまでおこなわれてきた研修 会や会議などで他法人の管理者 等との繋がりががあります。また、町 外での活動もおこなっており、同業 者との情報交換や活動を共にする ことがあります。		町の介護施設連絡会はコロナの影響 により活動が止まっていますが、活動 再開を調整しています。 それまでは各法人の持ち回りで合同 研修を企画しており、交流がありまし た。 外国人雇用者が入ってくれば、一層そ のような活動があった方がよい。
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	暮らしの中で生活の意義を見つけ られるように本人の能力・特性に合 わせた役割が持てるように関わり、 それぞれが役割を分担して共に暮 らす生活の場を築いています。		

				役割の中には相手を気にかける、声をかけることも含まれています。そこには職員、利用者という立場は関係なく人としての繋がりがあると思っています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別になりますが、馴染みの場所や自分が住んでいた家に行く、常連のお店に行く、地域行事に参加するなど繋がりを維持する支援をおこなっています	介護相談員より、ご利用者さまから「友達に会いたい」という声がよくあるそうです。馴染みの繋がりが今後も継続できるようにおこなって欲しい。		ご利用者さまの状況にもよるので、難しい面はあります。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活という場である以上、個々の暮らし方を尊重しつつも制約はあります。どこまで意向に沿えるかは職員の力量、人的余裕にかかってきます。そこが実行できる施設であるために人員に余裕を持たせ、成果を評価することに取り組んでいます。			職員の人間関係はどうか？一人間関係は悪くはないですが、個々の職員の介護に対する考え方や想いの違いはあります。そこが個々の力量となってくるのですが、全体で見ると概ね出来ていると判断しています。外出支援については他と比較しても個別の要望に応えられているのではないかと思います。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の意向の確認、介護者から見た生活の様子、医師等からのアドバイスなどを取り入れたプラン作成を心掛けています。	訪問診療、訪問看護がかりつけの診療所よりあり、週の内4日間、医療職が来所されます。他科受診は支援をします。他に訪問歯科、精神科の訪問診療があります。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域交流についてはケアプランに盛り込まれているのか一全員ではないですが、可能な方については反映されています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録のICT化により紙からPC等への入力となりました。メリット・デメリットはありますが時代に合わせた対応と考えています。振り返りや遡って記録を見るのが難しい。反面、管理者、ケアマネは端末機があればどこでも記録の確認が出来るという利点があります。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録のICT化はどのようなシステムを使っているのかクラウドでこうなると比較的安価なシステムです。「まもる君」というものです。グループホーム向けのものを使っています。端末は各棟に一台使用となっています。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	異変時の病院への移送・付き添いには柔軟な対応が出来ていると思います。また、生活保護の人など家族支援が薄い人に対する各種申請手続きなども代行しています。サービスの多機能化までには至りませんが、買い物への付き添い、自宅訪問、本人馴染みの関係者との交流支援などをおこなっています。サービスメニューを新たに増やすことは考えていません。	グループホームに他のサービスを入れた多機能化はおこなっておりません。この項目では、地域行事への参加、認知症カフェの開催、家族介護者の相談支援などを言っているのではないかと。グループホームの外に出て行く支援は多機能化に含まれるのではないかと。そういう面ではある程度できているのではないかと。	
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの場所やお店にお出かけして、本人の喜びや活気に繋がることはあります。しかし、個別的な支援なので、出来る人、出来ない人はいます。どこまで出来るかが個々の課題としてあります。	月1回のお寺の住職の方のお説法があります。皆さん、楽しみにしております。	
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居する際に「かかりつけ医」の確認をおこない、要望に沿う支援をおこなっています。また、必要に応じてかかりつけ医以外の眼科、皮膚科など地域のクリニックの受診支援をおこなうこともあります。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急搬送される病院とは顔のわかる関係を築いています。入院された時は連携室とこまめに連絡を取り、早期退院ができるように連携をとっています。		揖斐厚生病院がなくなり、西濃厚生病院が出来ました。中に居た職員はそのまま移動されているので、全く関係性がなくなったわけではない。同様の連携が良いのではないかと。救急搬送先は西濃厚生病院となるため今後、病院側と連携についての確認が出来ると良い(行政に要望) 本人、家族が他の病院を希望された場合はそのように対応

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	開設以来、多くのお看取りに携わり経験を積み上げてきました。本人異変の気づきを医師に伝え、医師と家族を交えた話し合いをおこない、本人・家族が納得した終末期を過ごせる支援に努めています。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	急変や事故発生時にどこに連絡し指示を受けるかの対応は徹底しています。心肺蘇生、AED訓練はコロナ禍で見送りとなっていました。消防署にお願いして訓練を再開していきます。			職員に医療職はいますか？—いません。救急救命講習などは受講していません。そこを補うために訪問看護をお願いしています。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制を築いている	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	定期的に防災訓練を実施しています。近隣の介護施設と災害協定を結んでいます。BCPを作成しました。BCPがより実践的なものになるように内容を更新していきます。	自家発電設備がまだ整備出来ていません。一昨年、補助金がとれず、今年度は申請を見送りました。次年度は申請するか検討します。	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	協定書には具体的な事柄まで記されているのか—記されています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	一人ひとりにそれぞれの人生があり、考え方、価値観が違うことを理解し、個人の尺度で相手に自分の考えを押し付け、判断しないように注意しています。そのためには認知症の理解が必須です。様々なケースがあります。利用者目線のケアが大前提としてズレたら修正をおこない、ケアの質の維持に努めています。		<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	プライバシーへの配慮は気を付けていますが、言葉かけについては課題があります。家族アンケートでも言葉かけについての指摘がありました。引き続き改善に取り組みます。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	個々の暮らしのペースを尊重したケアに努めています。反面、シフトの都合、職員の力量によりご利用者さまの意向に沿えないこともあります。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	個々の能力に応じて家事参加して頂いています。食べることは楽しみです。だからこそ、施設で調理をして提供することにこだわっています。	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	地元の人から野菜などのおすそ分けはありませんか？一あります。大変、有難いです。地域活動でご縁を頂いた人などから頂くことがあります。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	食事・水分の摂取量を把握し健康管理をおこなっています。食べ物の好み、食事形態、排泄状況など個々の状況に応じた支援をおこなっています。栄養士は居ませんが、旬なものが食べられるようにメニューを考えています。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	毎日、口腔ケアをおこなっています。必要に応じて訪問歯科医に来て頂き、義歯の調整、指導、治療をおこなって頂いています。	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	口腔機能向上に関わる介護保険の加算はとっていません。LIFEについて準備はしています。次期介護保険改正の内容にもよります。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	個々の排泄状況を把握し、トイレ誘導、おむつ交換と排泄ケアをおこなっています。特に便秘については医師と相談して改善に努めます。また、おむつの料金負担軽減のため本人の状態にあったモノを選択するための意見交換、実践をおこない工夫をしています。	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	管理者は「おむつフitter」の資格を取得しております。排泄について特におむつの使い方について助言等をおこないます。外部講師による排泄ケア研修をおこなっています。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	曜日、時間帯は決まっています。本人の体調や希望により日にちをずらすことはあります。		週2回は入浴して頂きます。個浴になっています。音楽を流すとリラックス効果があるそうです。音楽療法など
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	早起きする人、昼寝をする人、夜間活動する人とあり、それぞれの生活習慣を尊重しています。また、体調に配慮して休息をすすめることもあります。		

				眠い時に眠れることが一番良いです。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どのような薬を服用しているか職員はある程度把握しています。処方内容が変わる時は申し送りをおこない一人ひとりが理解するようにしています。薬剤師と連携して薬の形態(錠剤・粉末)を選択しています。新しく処方される時や変更がある時は経過を医師等に報告しています。 服薬支援では複数で薬を確認し、本人が薬を飲み込むまでを確認する支援をおこなっています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調剤薬局の薬剤師が毎回ではありませんが、訪問診療の時に同行し、薬についての説明や助言等があります。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物を畳む、おしぼりの準備をする、配膳を手伝うなど本人の能力を活かした役割があります。また、カラオケ、散歩、ドライブに出かけることは気分転換となり喜ばれます。個々の状況によりますが、お買い物に出かけて自身の嗜好品を購入して楽しんでいる人もいます。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩、ドライブに出かける機会があります。また、個々の能力、状況によりお買い物に出かけたり、自宅の様子を見に行ったり、地域の人達の協力により地域行事に参加することがあります。地域の催し物(盆梅展、バラ園、道の駅でのイベントなど)に出かけることも喜ばれています。			

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金の認識が出来、ある程度の管理がおこなえる人は所持されています。お店に行って自分で会計まで出来る人もます。但し、どの人も本人任せで買い物に行くと、際限なく使ってしまうことが大いにあり、注意する必要があります。財布にお金がなくなっても銀行にはまだたくさんあるという大雑把な感覚の人が多います。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族の要望に応じて手紙や電話でのやりとりが出来るように支援しています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	バリアフリーになっています。人と人との距離が近く、孤独を感じさせない空間になっています。反面、距離が近いことによる人間関係のわずらわしさもあります。そこは職員が介入してクッションの役割をします。狭い建物ですが、ひとりで落ち着ける場所を持つことにも配慮しています。各棟のホールのソファは各々が暗黙のうちに座る場所が決まっています。摩擦が起きないように配慮して誘導をしています。個室も本人の使いやすさに配慮しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本音は自分の家に帰りたい、家族と一緒に過ごしたいと思っているでしょう。それが難しいことだと感じ、自分の気持ちに折り合いをつけて暮らしています。			どのご利用者さまも本音は自分の家に帰りたいと思っていると感じます。それが実現できない難しさがあります。

				そのような気持ちを一瞬でも紛らすことが出来るように関わり支援をしています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	①. 十分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない ④. ほとんどできていない	本人・家族等から得た情報を関係者と共有してケアに活かしています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	①. 十分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない ④. ほとんどできていない	医療機関と連携して訪問医療・訪問看護をおこない、緊急時の対応についても連携しています。 週1回の訪問看護では看護師が一人ひとり丁寧にケアをしてくれています。 また、個々が抱える転倒リスク、排泄障害、BPSD 等に対して介護士は日々の変化に応じた対応をおこなっています。		①. 十分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない ④. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	①. 十分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない ④. ほとんどできていない	一日の日課はありますが、ある程度はご自分の時間でそれぞれのペースで生活されているように思います。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	①. 十分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない ④. ほとんどできていない	家族との写真や使い慣れたモノ、化粧品などを自室に持ち込まれています。		①. 十分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない ④. ほとんどできていない	かつてはお仏壇やお位牌をお持ちになられた方も居ました。ご本人が自宅に行かれて何かを新たに持ってこられた時は、職員は確認をしてください。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	①. 十分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない ④. ほとんどできていない	本人の希望で外出することがあります。自宅へ行く、床屋、買い物、地域行事参加などに出かけています。施設側の職員体制によっては意向に沿えないことがあります。概ね実現出来ているのはグループホームというサービスの特性だと思います。			

				家族と連携した支援もおこなっています。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の出来ること、出来ないことを見極めて支援をしています。、役割を持ち生き活きとする人、レクリエーション活動を楽しむ人、食べることを頑張る人など個々の特性に合わせた支援をおこなっています。		
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どこまで満足した生活を送れているかは図れないですが、単調な毎日とならず、変化があり笑顔があり楽しい日々が送れるような支援に努めています。 本人が思いや主張を私達に言える関係づくりが大切だと思っています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅を訪れ近隣の人達と挨拶を交わす、檀家のお寺行事に参加し旧友達との会話を楽しむ、行きつけのお店に行き挨拶を交わすことはあります。日常的には難しく、支援が出来る時に限られます。本人の能力次第という面があります。		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆さんの笑顔から安心の日々、楽しい日々を送れていると感じています。そのような生活を実現できるように職員は努めています。そのためには職員の働きやすさの環境を整え、ゆとりあるケアができるように経営者、管理者はより良い運営に努める必要があります、全体的に支援をしています。	男性は共同生活が苦手なイメージがありますがどうでしょう？→そうとも限りません。概ねうまく馴染まれているように思います。 入居されている人が近隣の人が増えました。そういう意味でも馴染まれているのかもしれない。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

--	--	--	--	--	--	--	--

自己評価作成日：2023年6月23日

外部評価実施日

2023年10月12日 13:30～15:45

参加者

揖斐広域連合 介護保険課：野原幸司

揖斐川町役場 住民福祉部 健康福祉課：高橋宗徳

揖斐川町民生児童委員：長柄享子

グループホームひまわり：田中宏英